

町長の行政報告



池田町長

伊野小学校2学期から 新校舎で授業を実施

今後は校舎の解体工事、プール・体育館・給食センターの建築工事の着手に向け取り組んでいく。

高知広域連携中枢 都市圏構想

県内の全市町村が、実務者レベルでタッグを組み、圏域全体の経済成長や都市機能の強化、生活関連機能サービスの向上を目指し、平成30年度から連携事業を実施する。

いの町の移住定住 促進について

平成28年度は移住相談253件、移住者は10組17人いる。新たな取り組みとして、お試し滞在施設の整備、土佐市・日高村と連携した移住フェアや移住交流会を企画している。

いの町の観光

平成28年度には、紙の博物館での売店のリニューアル、クレジット対応や野外看板の改修、館内案内チラシの多言語語化、土佐和紙PR動画を作成、町内施設の相互割引券の発行、レンタサイクルをリニューアルした。平成29年度は、まち歩きガイドや、山岳ガイドの備品整備、「お湯めぐり」の広報ツール作成、新たな地域グルメとして生姜焼き街道スイーツ版の開発に取り

組む。

本庁舎サイン・総合案内

2階に誘導サインを試行的に追加し状況を確認している。また1階玄関付近にある案内サインを補整・補足した。

壁面の既存サインは分かりづらいので、階段・トイレなどの案内サインは大きなサイズを目立つところに設置した。サイン表示だけでは案内しきれないことも多いので、1階中央階段付近への総合案内設置を検討協議している。

第10回高知国際版画 トリエンナーレ展

紙の博物館で10月7日から12月3日まで開催予定で土佐和紙国際化実行委員会とともに準備を進めている。この世界的な版画展を「いの町」から盛り上げ発信すべく、地域の皆さんとの連携のもと、入場者1万人を目標に取り組む。

日高村の日下川の 浸水対策について

国土交通省の事業として実施される日下川新規放水路事業について、放水路のルートが大内南の谷地区南側の山中を通るため、地元との協議が行われている。

本体工事は、いの町側は平成30年度着手し平成32年度末完成を目指している。

分水第一発電所改良工事に 伴う残土処理完了

普通自動車142台、大型バス4台の駐車区画と西側にはヘリポートが整備された。今後はグリーン・パークほどこにおける各種イベントの駐車場として活用する。また災害をはじめとする緊急時には、ヘリコプターの離発着が可能となり、地域の防災力の向上が図られた。



トリエンナーレ展審査風景